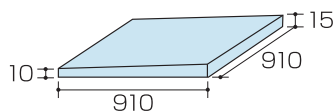


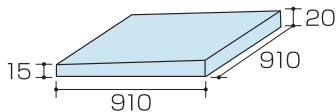
# 断熱材の種類

## 《排水溝用》断熱材 (勾配断熱材) 単位:mm

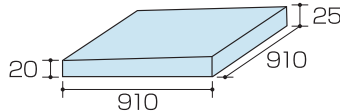
D10-15



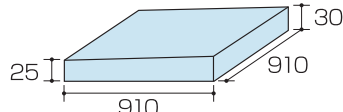
D15-20



D20-25

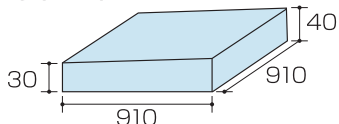


D25-30

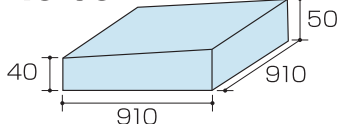


## 《平場用》断熱材 (勾配断熱材) 単位:mm

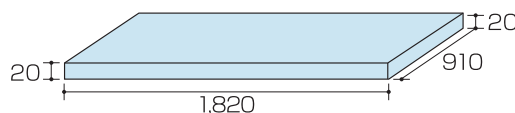
勾配  $\frac{1}{100}$  D30-40



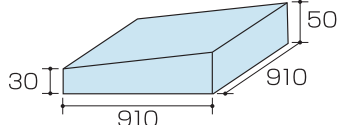
D40-50



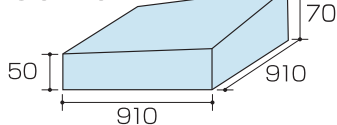
D20 (断熱平板)



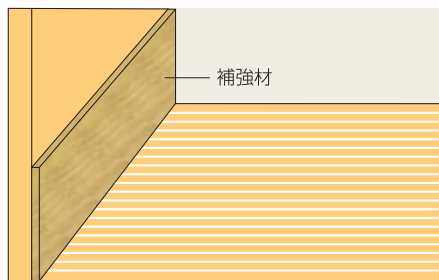
勾配  $\frac{1}{50}$  D30-50



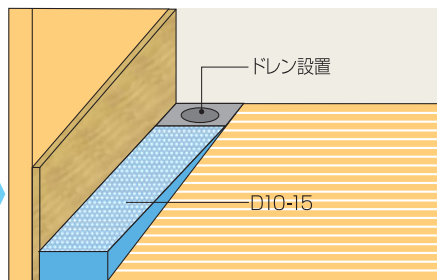
D50-70



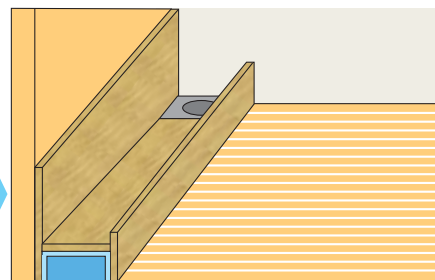
# 断熱材の施工例



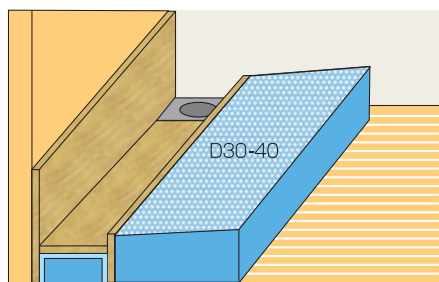
①立上がり面に補強材を設置してください。  
※補強材：繊維混入けい酸カルシウム板もしくはJAS構造用合板。



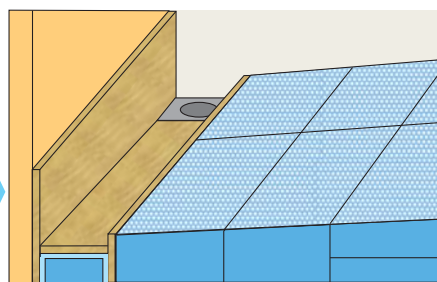
②ドレン取り付け後に断熱材D10-15から、水上に向けて施工してください。



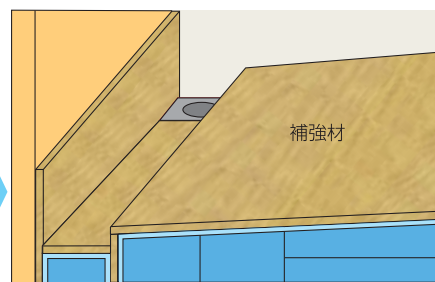
③排水溝部に設置が完了したら、断熱保護材(当社指定フィルム)で断熱材の表面をシーリングしてください。その後、仕切板を設置してください。



④勾配が $\frac{1}{100}$ の場合、断熱材D30-40から設置してください。 $\frac{1}{50}$ の場合、断熱材D30-50から設置してください。

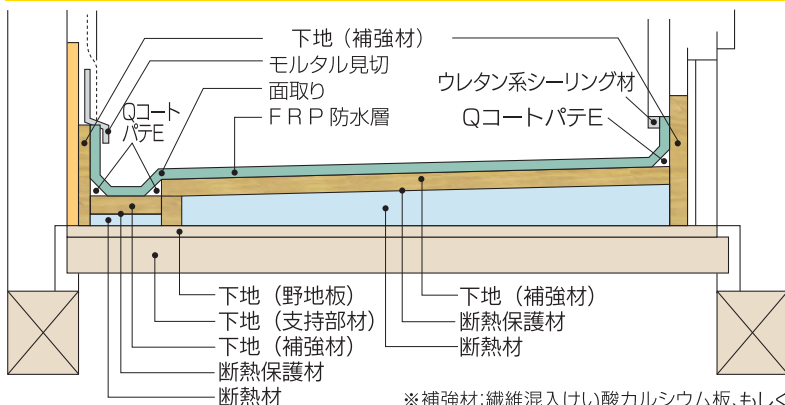


⑤断熱材を組み合わせ敷き詰めてください。その後、断熱保護材(当社指定フィルム)で断熱材の表面をシーリングしてください。



⑥断熱材の上から補強材を設置し、ビスで下地に固定してください。  
※ビス部分はQコートパテEもしくはウレタン系シーリング材で穴埋めシーリングしてください。

## 納まり図 防火断熱工法断面図 (例：住宅ベランダ)



※補強材：繊維混入けい酸カルシウム板、もしくはJAS構造用合板

### 《注意事項》

※シーリング不足は、防水材(有機溶剤)で断熱材を溶かし空洞化する恐れがあります。  
端部・ビス部分はQコートパテEもしくは、ウレタン系シーリング材で穴埋めしてください。

※断熱材(ポリスチレンフォーム)の使用温度は70℃以下です。高温での使用は避けてください。

※直射日光に長時間(2~3日以上)さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良・厚みの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートでおおい施工後は仕上げを速やかに行ってください。